

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	
設置期間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造に関わる学会規準・指針について、(a) 英文化を進めて逐次刊行し、(b) 海外に示すうえでの問題や疑義を整理し、将来の改定について提言すること。</p> <p>初年度：『鋼構造設計規準 (2005)』の英語版を刊行し、『鋼構造接合部設計指針 (2012)』の英訳化を進める。</p> <p>2 年度：『鋼構造接合部設計指針 (2012)』の英語版を完成し、刊行準備を進める。</p> <p>3 年度：『鋼構造接合部設計指針 (2012)』の英語版を刊行、三冊目の英訳化を進め、『鋼構造設計規準』改定版の英文化を支援する。</p> <p>4 年度：3 年度に選定した規準・指針の英語版を刊行する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：岡崎太一郎 (北海道大学)</p> <p>幹事：松本 由香 (横浜国立大学)</p> <p>委員：沖 晃司 (JFE スチール) 倉田 真宏 (京都大学)</p> <p> 小山 毅 (東京大学) 高木 次郎 (首都大学東京)</p> <p> 田川 泰久 (横浜国立大学) 松井 良太 (東京工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	280,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 『鋼構造設計規準 (2005)』英語版が遅れ気味だが、2017 年度初めに出版できる見込み。</p> <p>2. 『鋼構造接合部設計指針 (2012)』英語版を進め、2 年度で初校を完成できる見込み。予定通り、3 年度はじめに査読手続きに入る見込み。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 英語圏の鋼構造関連基・規準は、法律に準ずる位置付けにあり、長年にわたって構成と文章が整理し磨かれてきた。これに対して、学会の基・規準は、法的拘束力を伴わないためか、厳密性と厳格性に劣る。国際発信を進めるうえで、言語の問題以上に、この隔たりを埋める努力が必要であることを、構造委員会で意識共有する必要がある。</p> <p>2. 査読意見が英文化の正確さ・適切さでなく、英語表現の可否に対するものである場合が多く、対応と説得が非常に難しい。</p> <p>3. 学会刊行物を海外発信する上で Web 出版は有効な手段であるが、現状では版下原稿を作成するうえで印刷業者のサポートを受けられず、活用しにくい。</p>